

総合診療・地域医療学

Primary care・Community Medicine

単位数：5単位

○熊倉 俊一 教授：地域医療教育学 佐野千晶 教授：地域医療支援学
廣瀬昌博 特任教授：地域医療政策学・地域医療教育学

1. 科目の教育方針

近接性（患者の生活の場の身近で行われる）、包括性（患者ならびに家族の環境にも考慮し、患者の抱えるどのような問題にも対応する）、継続性（問題発生時のみならず、予防段階から関与する）、協調性（専門医をはじめとする医療従事者と協働する）、責任性（説明責任と医療従事者の生涯教育を保証する）により特徴づけられるプライマリ・ケアについて学ぶ。また、島根県のみならず我が国、海外の地域医療の現状と課題を理解するとともに、グローバルな視点で地域医療を捉え、地域住民の健康を守るための方策について自ら考えるための応用力を養う。

2. 到達目標 learning objectives

- ① プライマリ・ケアの必要性と現状・課題について説明できる。
- ② 島根県における地域医療の現状とその問題点について説明できる。
- ③ 日本および海外の地域医療の現状とその問題点について説明できる。
- ④ 病診連携、病病連携、多職種連携のチーム医療について説明できる。
- ⑤ 地域における疾病予防、健康増進の取り組みについて説明できる。
- ⑥ 地域包括ケアについて説明出来る。

3. 教育の方法、進め方

講義、学生によるプレゼンテーション、討論によって進める。講義は主としてオンラインで行うこととし、Teams 等によるライブ配信を中心にオンデマンドを併用する。講義方法に変更（オンライン⇒対面等）がある場合には都度、連絡を行う。

4. 成績評価の方法

すべての講義と演習が終わった後、規定の出席率（2/3 以上）を満たした学生に対し、課題を呈示し、レポートの提出等を指示する。そのレポート等を行動目標の達成度を主眼に評価する。

5. 使用テキスト・参考文献

6. 教育内容

回	授業内容	担 当
1	総合医療・プライマリケア総論	熊倉俊一
2	地域医療学総論	佐野千晶
3	島根の地域医療	佐野千晶
4	離島の地域医療	熊倉俊一
5	海外（特に米国）の地域医療	熊倉俊一
6	データから見る医療人材育成の現状	熊倉俊一
7	医師養成システム変革に伴う地域医療の担い手の現状と課題	熊倉俊一
8	地域枠制度について	熊倉俊一
9	新しい専門医養成システムについて	熊倉俊一
10	地域医療を担う人材育成戦略（EBM）	熊倉俊一
11	卒前卒後の地域医療教育	熊倉俊一
12	グローバルスタンダードな医学教育の推進	熊倉俊一
13	総合医療に関する研究とその方法	廣瀬昌博
14	地域包括ケアにおける総合診療	廣瀬昌博
15	総合診療と医療倫理	廣瀬昌博